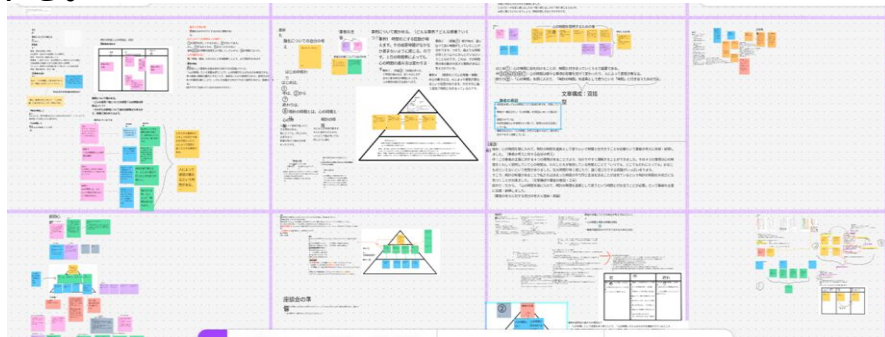


【取組内容】 クラウド環境の積極的活用し、情報・子ども同士を「つなぐ」

- クラウド環境の積極的活用(他者参照と自己のモニタリング) ○教師のモニタリング(ファシリテート)
○個の学習をつなぐ端末と教師の役割 ○直接的な協働的学びと間接的な協働的な学びで個別の学びを支える

○ ホワイトボード機能を活用し、他者参照・途中参照を
しやすくする

・ノート代わりにデジタルホワイトボードソフトを使用し、いつでもすぐに個々の学習を参照することができるようにした。悩んだときや困ったときは、**友達の考えを参照しながら学習を進められる。**



・デジタルホワイトボード上で確認した友達の意見をもとに、直接友達に考えを聞きにいったり相談しにいったりする相手を選択し、デジタル上だけでなく直接的で協働的な学びの活性化のために役立てた。教師も子どもの学習状況をモニタリングし、児童同士をつなぐ役割をしていく。

○ チャット機能で瞬時に情報の共有

・チャットに、個々の学習の進捗状況をのせたり、今日の自分のめあてをのせて共有化。教師がよいものを紹介しながら、児童の学習のしかたや考えを広げていく。よいものを共有しながら、友達と間接的に学び合い、ゆるやかにつながっていく。共有したものを個に再び返すことで、個別の学びを更に深めていった。

[illegible]

○表計算ソフトを活用した「ふりかえりシート」「学習状況進捗シート」

- ・表計算ソフトでふりかえりシートを作成。1枚のシートにクラス全員がふりかえりを入力する。